



新緑クラブ
酒井美代子
議員

▼第二次男女共同参画計画の策定について

Q 策定に向けた今後のスケジュールはどうなっているのか。

A 今月には各課の男女共同参画の推進内容の調査を予定しており、調査結果や男女共同参画推進懇話会の意見を踏まえ、計画の素案を作成する。その後、男女共同参画庁内推進会議やパブリックコメントを行い、二十二年三月には計画の策定を考えている。

Q 計画の内容はどういう方法でつくるのか。また、コンサルタントを使うのか。

A 計画策定の中で重要となるのは、具体的な施策であるので、大局的な視点から計画を見直していくために、男女共同参画の取り組みについて造詣がある地域のコンサルタントを予定している。

Q 策定にあたっては審議会、検討委員会等を設置するのか。

A 現在設置している男女共同参画推進懇話会で協議をしていただき、市の内部組織である島原市男女共同参画庁内推進会議も

活用しながら検討を進める。

Q 島原市男女共同参画推進懇話会の今後の役割、かわり方はどうなるのか。

A 平成十七年に策定した計画の目標と、二十一年に実施したアンケート調査の結果との比較や検証を行っていただいております。その意見をいただくことにしています。それらを踏まえ、二十一年度は第二次となる計画策定に取り組む。

Q 策定における課程で、広く市民を巻き込む手法はとるのか。

A 市のホームページ等を活用した情報公開と、パブリックコメントを行い、男女共同参画をより身近に感じていただき、施策の浸透・推進に努めたい。

Q 策定後、計画を実行していくためにどういった体制をとるのか。

A 実施体制としては、男女共同参画推進懇話会及び男女共同参画庁内推進会議が中心となり、関係機関や民間団体、企業などに働きかけて積極的に進め、あわせて計画の進捗状況の検証も行う。

【その他の質問項目】

- ◇ 食育推進会議設置条例について
- ◇ 物産流通対策本部設置について



政策研究会
林田勉
議員

▼広域農道に関して

Q 近年の交通量の推移はどうなっているのか。また、島原中央道路が開通した場合の交通量はどのように予想しているのか。

A 昭和五十年当初の計画交通量は、一日二千四百台から三千百台だった。十六年三月にがまだすロードが開通した後の、出平町交差点付近での交通量は九千七百三十五台で、三年後の交通量は一万三百二十四台となっている。島原中央道路が供用開始されると、更に三千台ほどふえることが予想されている。

Q 道路維持管理費と今後の安全管理について、どう考えているのか。

A 維持管理費は二十一年度当初予算で六百万円計上している。内容としては、のり面や路肩、花壇等の緑化管理業務委託を延長五千八百五十メートル、自転車交通等の安全対策として、原口町と大三東山之内上自治会付近での側溝ぶた架設、延長百八十メートルを予定している。

▼住居手当を持ち家支援制度に変更できないか

Q 現在、職員の住居手当は何名に、総額幾ら出しているのか。また、住居手当を現行の総枠以下で、持ち家支援制度にシフトできないか。

A 十九年度決算に基づく支給総額は、持ち家が三十三人に八十一万円、借家が八十八人に二千五百九十三万円を支給した。持ち家支援制度については今後研究したい。

▼通勤手当の活用でエコ通勤へシフトできないか

Q 地球温暖化対策の一環として、車の通勤手当を改め、自転車や徒歩、乗り合い通勤する職員に補助する制度にできないか。

A 昨年実施したノーマイカーデーの結果は、七月七日分で、二酸化炭素排出量を三百二十一キログラム、通常より四十一・六%削減し、十二月十日からの三日間では、二酸化炭素排出量を六百四十一キログラム、二十四・四%削減した。今後ともノーマイカーデーの実施回数をふやすなど、地球温暖化対策の一助になる取り組みを進めていく。

【その他の質問項目】

- ◇ 市長を囲む懇談会について